

数学

北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文・教育・法・経済・医（保健看護・作業）】

<全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

解答形式

全問記述形式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

かなり易しかった昨年より難化した。解きにくい設問・問題がやや多い。

出題の特徴や昨年との変更点

2 のスタートの条件式が理系の **5** (1)の条件式と似ている。(類似問題)

その他トピックス

未経験の受験生が多いと思われる「抽象関数」の問題 (**4**) が出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	微分法の応用	数学Ⅱ	典型的な3次関数の極値と接線の問題。やや数値が大きいので、計算ミスに注意して完答したい。	やや易
2	場合の数 三角比	数学A 数学I	条件を満たすすべての場合が10組しかないことに気づくと、あとはそれらをすべて調べるだけになる問題だが、簡単ではないのかもしれない。	標準
3	数列	数学B	見慣れない形の漸化式の問題は2年連続である。誘導に乗ってしまえば、それほど難しくはないが、昨年よりは経験の差が出てくるだろう。	標準
4	関数とグラフ 指数関数	数学I 数学Ⅱ	最近の受験生は、ほとんど経験していないタイプの問題なので、何をしたらいいのかわからず、最初から手を出せない可能性が高い。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

ほとんどが最後まで解けそうな問題だった昨年よりは難しくなり、今年は、受験勉強での経験の差が表れる問題も含まれていた。今回の **4** のような多くの受験生が手を出しにくい問題は、ほとんどの場合が合否に影響ない。日頃から自分の解ける設問を常に正確に解く練習をしておけば、それが部分点の確保の練習になり、得点の積み重ねによって合格ラインを突破することが可能になる。どのような難易の問題が出題されても、合格できるための得点を獲得することを意識して、普段からしっかり学習しておきたい。